



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校 令和 4年 6月22日

地域とひとつになって子どもを育てる！

校長 菅原 透

全国的にコロナの勢いが下降気味です。この後の動向は予想できませんが、このまま終息に向かい、新たなステージが始まらないかなあと心から願うこの頃です。

さて、6月3日（金）に5年生の田植え体験を行いました。町内で本校だけが実施していなかった「田んぼの学習」を新たに始めることができました。コロナ

禍で体験が不足する子ども達にとって、心を



耕す最高の機会。田んぼをお貸しいただいたり、田植えを教えてくださいたり、地域の皆様の絶大なるご支援があつてのスタートとなりました。感謝です！

子ども達の歓声が響き、笑顔の花が咲きました。土のにおい、泥の感触、苗を植える感激、そして、田んぼの先生の温かな手ほどき…。五感をフルに働かせての活動になりました。

「やったことはあったけど、友達と一緒にできるから嬉しい！」



人とのかかわりが制限されてきた昨今、感性を磨く絶好の機会になりました。



ハブニングはつきもので、しりもちをつき、体じゅうで自然を満喫した子ども。でも、これがいいんですよね。

前号でも紹介しましたが、コミセンと連携した畑の先生には、2年生のポップコーン植えにもお力添えを得ました。本校伝統の紅花の先生、クラブの先生…。一緒にめんごい子どもを育ててくださっています。今年は創立150周年を終えての1年目。子どもが力をつけ、自分自身を、学校を、そして、ふるさとを好きになる活動を創る。その鍵は、昨年度から始まった“学校運営協議会”を基盤に、学習指導要領で求められている“社会に開かれた教育課程”をすすめる「地域と一体となった学校づくり」。そして、これこそを、これまでの伝統を磨き、新鮮さを打ち出す、本校の「新たな伝統」と呼べるものにしたいと思います。地域の勢いづくりに学校が大きな役割を担っていることを自覚しつつ、次代を担う宝物である子どもを、地域とともに育てる日々を積み上げます。よろしくご面倒ください。



=熱中症対応コロナ対策のお知らせ=

- 1 命を守ることを最優先に、暑い時はマスクを外してもよいことを指導しました。外したら、互いに距離をとる、話をしないことが約束です。
- 2 密集・密閉・密接回避には要配慮です。
- 3 換気・手洗いは欠かさず続けます。

= 7月の予定 = 《学力向上月間》

4日（月）幼小連携研修会
8日（金）授業参観
9日（土）家庭読書の日
15日（金）ブラッシング指導
18日（月）海の日 県陸上
21日（木）読みきかせ
23日（土）家庭読書の日
26日（火）終業式
29日（金）町水泳大会



= 水泳スタート =

6月14日（火）にプール開きを行いました。楽しく泳いで泳力を高め、自分でいのちを守る術を身につけてほしいと願っています。それに先立って、9日にはプール清掃。5・6年生が力を合わせてきれいにしてくれました。高学年らしく、一生懸命できる姿に頼もしさを覚えました。



= あいさつ強調週間 =

6月6日から、あいさつ強調週間が行われました。計画委員がいつもより早く登校し、全校生に「あいさつ」。自己評価が毎日行われ、この期間の最高得点は「99点！」。ぐっと点数が伸びたものの、100点まではもう一歩。満点達成はいつの日か…。



子どもの様子はホームページでもどうぞ

= 修学旅行 =

5月26日（木）～27日（金）に、宮城方面へ6年生の修学旅行を行いました。昨年度は県内での実施でしたが、今回は感染対策を十分に施し、杜の都へ。班別行動は自粛し、みんな一緒に見学。宿泊も含め、楽しい思い出をいっぱい作ってきました。



= 町芸術鑑賞教室 =

5月30日（月）。本校は東根小学校と一緒に午後から鑑賞。やっぱり本物はいい！演者の迫力に子ども達は釘付け。心を耕す貴重な時間になりました。



= P T A 早朝作業 =

5月29日（日）早朝よりお集まりいただき、校地内整備をしていただきました。子ども達も清掃等を行ったりしますが、やはり、大人の力はすごい！あっという間にすてきな環境になりました。心から感謝いたします。

